

茅ヶ崎ワンバウンドバレー ルール

1 概要

既存のバドミントンコート・ネット等を利用して、おむすび型の変形ボールを使って行うバレーボール型のニュースポーツです。

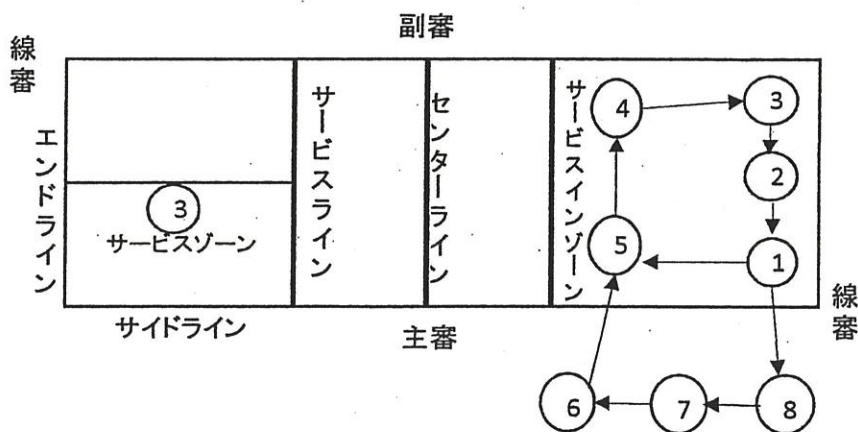
軽い変形ボールを使用する為、スピードが遅く突き指の心配がないこと、またボールの飛ぶ方向に意外性があり予測が付けにくいことから、バレーボールが得意な人が必ずしも有利ではないというように、上手下手に関わらずゲームを楽しむことができます。

2 用具

- ・ おむすび型変形ボール ※ 直径50センチ
- ・ ソフトバレーボール用ネット(バドミントン用ネット可)
- ・ ソフトバレーボール支柱(バドミントン用支柱可) アンテナは取り付けない。
- ・ 得点版

3 コート

- ・ バドミンントンのダブルスコートを使用します。
- ・ ネットの高さ180cm



③にローテーションしたらサービスを行う。

4 人数

1チームを5人以上で構成し、参加者全員をローテーションの対象とします。
(コート内の競技者の人数は5人で行います。)

5 ゲームの進め方

- ① 両チームは試合開始前と終了時にサービスラインに整列する。
- ② キャプテンは最初のサービスを取るか、コート取るかをジャンケン等で決める。
- ③ プレーヤーは前衛2人、後衛3人のポジションに位置する。
(サービスが行われたらどこに動いてもよい)
- ④ サービスは1本、サービスゾーンからサービスインゾーンにアンダーハンドで行う。
(サービスはネットに触てはいけない)
- ⑤ 相手からのサービスおよび返球に対し、必ずワンバウンドさせなければならない。
最大限3回プレーすることができる、1回で返球することはできない。
ボールは脚から下を除く身体の中のどの部分に当たってもよい。
- ⑥ 得点はラリーポイント制で行い、サーブ権を得たチームは、直ちに右回りにローテーションする。
- ⑦ 15点を先取したチームが、そのセットの勝者となる。
1ゲームは3セットマッチ制とし、2セット先取したチームがゲームの勝者となる。
- ⑧ 2セット以降のサービス開始は、前のセットでサービス権を行使しなかったチームが行う。

- ⑨ コートはセットごとに交替する。第3セットはいずれかのチームが8点先取したときにも交替する。
そのとき、サービス権やプレーヤーのポジションは変わらず、交替時のまま続行する。
- ⑩ タイムアウトは1セットに1回30秒以内とする。

6 プレー上の反則

- ① ローテーション順を誤ってサービスを行ったとき。
(サービス順の誤り)
- ② サービスゾーンのラインを踏む・踏み越してサービスを行ったとき。
(フットフォルト)
- ③ サービスが打たれた瞬間に両チームの各競技者が、コート内で正しいポジションに位置していなかったとき。
(競技者がコート外に出ていた場合を含め)
(アウト・オブ・ポジション) (ポジショナルファール)
- ④ サービスされたボールが相手競技者に触れずに、サービスインゾーンの外側に落ちたとき。
(フォルト)
- ⑤ ネットを超えてきたボールをワンバウンドさせずに触れたとき。
(ノーバウンド)
- ⑥ 1回で相手チームコートへ返球したとき。
(ワン・リターン)
- ⑦ ボールへの接触が3回を超えたとき。
(オーバータイムス)
- ⑧ 明らかにボールが止まるようなプレーのとき。
(ホールディング)
- ⑨ インプレー中、競技者がネットに触れたとき。
(ネットタッチ)
- ⑩ 同一競技者が2度続けてボールに触れたとき。
(ドリブル)
- ⑪ 脚から下でボールに触れたとき。
(フットボール)
- ⑫ 相手方のコート内でボールに触れたとき。
(オーバーネット)
- ⑬ プレーを妨害したとき。
(インターフェア)
- ⑭ イン・アウトは接地点ではなく、投影で判定する。

7 試合中断の不当な要求と処置

- ① サービス許可の吹笛後の要求
- ② インプレー中の要求
- ③ タイムアウト規定回数を超えた要求